

第13回大阪公立大学アカデミア創薬シンポジウム

— 始動、創薬科学研究科 —

2026 7.13 (月) 13:30～17:30

ライフサイエンスハブウエスト

大阪メトロ御堂筋線・中央線「本町」駅2番出口より徒歩1分



大阪公立大学
Osaka Metropolitan University



J-PEAKS

本年4月1日より「大学院創薬科学研究科」がスタートしました。

本研究科には1専攻16研究室を配し、異分野融合型の創薬科学教育を推進することで、高度な専門知識と能力を持つグローバルな研究者の育成を図ります。

また、創薬科学研究所との連携により教育と実践の両輪を回し、日本の創薬エコシステムの一翼を担う創薬ハブたる将来像を目指しています。今次シンポジウムでは、新たに創薬科学研究科のメンバーとなった若手気鋭の6名の研究者から最新の研究成果を紹介致します。

参加対象: どなたでも (参加費無料)
ハイブリッド配信 (zoomウェビナー)
会場定員: 60名 申込先着順

申し込みは
こちら



申込期日: 7月8日(水)

※お申込みの際の個人情報は、応募後の事務連絡、統計資料などの作成および本学イベント情報等のご案内に使用いたします。利用目的以外の使用については、一切いたしません。

※開催前日までに、お申込み時に登録いただいたメールアドレス宛に事務局より視聴案内をお送りいたします。

13:30～ 開会挨拶&シンポジウムキーンोट

大阪公立大学大学院創薬科学研究科 研究科長
/ 創薬科学研究所 所長

乾 隆

13:40～ 動きを活用した計算創薬研究を目指して
— 静的構造だけでは説明できない機能をどう理解するのか —

計算分子生物学 講師 浴本 亨



14:00～ 腸管病原菌の定着機構を標的とした構造生物学的創薬研究

創薬構造生物学 講師 河原 一樹



14:20～ 未開拓3次元ヘテロ環骨格に着目したインシリコ創薬探索研究

標識創薬化学 助教 大野 祥平



14:50～ マクロファージのCpG DNA応答を増強する抗菌ペプチド

機能生化学 助教 西原 冨佳



15:10～ タンパク質医薬品の適用範囲の拡張: ペプチドによるタンパク質の「サイトゾル」送達

創薬生命化学 講師 坂本 健太郎



15:30～ 病態メカニズムと食品機能性の統合的理解に向けた修飾タンパク質の共通分子基盤

病態創薬科学 講師 板倉 正典



16:15～ 閉会挨拶

大阪公立大学大学院創薬科学研究科 副研究科長

中瀬 生彦

16:30～17:30 ポスターセッション(会場のみ) 講演者の創薬シーズをポスターにて紹介。是非会場にてご参加ください。

主催: 大阪公立大学 創薬科学研究所 事務局メールアドレス: gr-knky-uracenter_n@omu.ac.jp

後援: 大阪府、日本製薬工業協会、一般社団法人日本臨床検査薬協会、一般財団法人バイオインダストリー協会